学校だより
NO 27
令和６年３月11日発行

倉中だより

伊勢市立倉田山中学校
伊勢市神田久志本町1645-2
校長　金森晃生
電話　２２－９４１５
FAX　２２－２１９８
E-mail
kuratayama@jr.ise-mie.ed.jp

学校教育目標　「心やさしく、思いやりの心を持ち、たくましく、知性豊かな倉田山中生徒の育成」

東日本大震災・能登半島地震

みなさんは何を想う

2011年３月11日、14時46分、M9.0の大地震が起こりました。ちょうどみなさんが生まれた年でしょうか。災害が起こった時のことを、覚えている人はいないと思います。当時、私は卒業式も終わり、少しのんびりした気分で、部活動にいこうと準備をしていたところでした。職員室にいた誰かが、インターネットのニュースか何かで「東北で地震が起こった」と言って、テレビをつけました。テレビを見たとき、最初何が起きているのかよくわかりませんでした。映画かドラマか何かの一場面を見るように、ぼーっと画面を見ていました。堤防近くの道から、車が、家が、船が傾いた状態で流され、ところどころに人影がある映像が映し出されました。その時でも「なにこれ。どうなっているの？」としか感じることができず、アナウンサーの悲鳴に近い声もどこか遠くの出来事で、人ごとのように感じていました。初めて見る悲惨な現実の光景を、現実と認識できませんでした。時間がたつにつれ、徐々に映画や作られた画像ではない、現実の世界だと認識した途端、怖くて不安で、心臓がどきどきするのを感じました。その後、さらに時間がたつにつれ、津波や地震の大きさ、多くの人の命が奪われたこと、原子力発電所のことなど、未曽有の災害であることがわかってきました。三重県から離れた、東北地方だけの災害ではなく、伊勢市でも「津波警報」が発令されました。

あれから12年が経ちました。その間、東北だけでなく、日本中、世界中から支援の手が差し伸べられました。施設や設備など形のあるものは、復興しているところも多くあります。街も新しく生まれ変わっています。しかし、人々の気持ち、意識はどうでしょう。まだまだ復興していないように思います。すべての復興はまだ道半ばです。いや、始まっていないところもあるのではないでしょうか。特に、原子力発電所に至っては、なかなか計画通りに進まず、少しずつ故郷に戻ることはできていますが、家がなくなるなど、故郷に帰れない状況もあります。振り返ると、このような大惨事は、未然に防げたのかもしれません。しかし、残念ながら、失われた命は戻ってきません。私たちは、多くの人の犠牲を無駄にせず、命を守るために何を学んだのでしょう。学校では避難訓練、防災学習、危機管理など命を守る学習をしています。しかし、まだま

だ足りないように思います。

１月１日に能登半島地震が起きました。200 人を超える人が命を失い、いまだ安否が分からない人もいます。大きな揺れによって、上下水道が分断され、断水が続いている地域もあります。家屋も倒壊し、復旧の見込みが全く立たない家屋もあります。そのため、１万人を超える方々が避難所生活を送っておられます。学校の１番の目的は各教科の学習をする場です。しかし、命がなければ何事もできません。まず命を守る取り組みが必要です。この地域でも、近い将来（明日かもしれません）大きな地震が起こると予想されています。そのための備えをしていますか。もし地震が起こったら、逃げる場所（自宅、登下校中、外出先、学校などあらゆる場所を想定して設定しておく）、持ち物、家族との連絡方法などいろいろなことを準備し、決めていますか。学校での取り組みは、今後も続けていきます。しかし、一番大切なことは「一人ひとりの意識」です。みなさんは、東日本大震災の被害の様子をあまり見ていない、あるいは記憶にないかもしれません。しかし、能登半島地震の様子は今もニュース等で報道されています。３学期の始業式では、全校で亡くなった方々のご冥福を祈り、黙とうを行いました。東日本大震災や能登半島地震を忘れることなく、被災者のみなさんを想い、教訓として、自分は何ができるのか、命を守るためにはどうすればよいのかを考えて、日々、行動することを意識してください。

地震や津波対策以外に、地球に住む私たちは、感染症対策や持続可能な社会を創ることなど、これからの人類に多くの教訓を残し、私たちが実行していることもたくさんあります。私自身も振り返ってみると、できていないことがたくさんあります。やらなければならないことが多くあります。もう一度、自分の言動を見直しながら、小さなことから始め、一人ひとりが命を守り地球を守ることを意識していきたいと思います。

東日本大震災、能登半島地震で命を失われたみなさんのご冥福をお祈りいたします。また、復興にご尽力されている方々に感謝し、１日でも早く、目に見えるものも、目に見えないものも復興が早急に進められることを願います。

令和６年度前期生徒会本部役員決定

８日に、令和６年度生徒会本部役員決意表明演説会を行いました。３年生が卒業し、１，２年生だけの生徒会になりました。今回は、定数と立候補者の人数が同じでしたので、選挙はありませんでした。一人ひとりが倉田山中学校をよりよく、元気のある学校にするために、何をすべきかを考え、力強く公約を述べてくれました。生徒会は全校生徒が会員です。全校生徒で本部役員のみなさんを支えていってほしいと思います。

～　保護者のみな様へ　～

日頃は、倉田山中学校の教育活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

先日、卒業式を無事に終わることができました。いよいよ、新しい学年になります。それぞれが目標を持ち、日々の生活を送ってほしいと思います。これからもご理解、ご協力をお願いいたします。

※　現在完全下校は１７：３０です。